

御所湖広域公園 令和7年度利活用などの管理運営の方向性について

1.令和6年度を取組を継続する内容

- ①情報発信手段として公園のホームページへ動画や写真の掲載をすることや、SNSを活用しての公園の最新情報や何気ない風景を見やすく、わかりやすく伝えることを継続します。
- ②花畑等の整備を継続します（ファミリーランド賢治の花壇、町場地区園地の花畑他）。
- ③さくら園の南部曲り家の厩部分を無人公園案内所や産直やイベントの場としての活用を継続します。
- ④遊歩道の魅力アップ作業を継続します（オリジナル植物名札の設置や、周辺林の下刈り、間伐による見通し改善、アジサイ等修景木の育成管理など）。
- ⑤公園からの湖水面等の眺望確保やお客様お安全確保のため、今後も、それらを阻害する木の伐倒、下草の刈払いなどを、県と周辺施設等と調整して進めていきます。
- ⑥有料施設（野球場・テニスコート）やイベント（自然観察会など）のWEB予約と電話予約の並行予約を継続して実施し、さらにホームページ、SNSによる施設利用やイベント情報などの発信を一層増加・充実させることで、施設等の利用とイベント参加の増を目指します。
- ⑦町場地区園地は、花畑や芝生地など大半の地下水位が高く、花畑の充実や芝生地の快適性に大きな問題となっております。その改善策を県と協議の上、進めていきます。
- ⑧20回目を迎える「御所湖広域公園協定会」等を通じて、周辺の宿泊施設や団体学校等と意見交換して、地域連携を進めていきます。

2.令和6年度を取組を拡充する内容。

- ①町場地区園地センターハウス内に設置した「木のブロック」コーナーをさらに充実させます。面積を増やし、親子連れなどが木と触れあえる木育の場として充実を図ります。
施設利用促進のため授乳室の設置やワーケーションが行える設備など、施設の整備を県と協議して進めていきます。
- ②害獣対策として、町場地区園で既存柵下部に試験的に設置したネットによるイノシシの侵入防止効果が確認できました。今年は乗り物広場の一部でその効果を確認していきます。
- ③岩手県交通のバス路線の一部廃止により、三大園地（町場地区園地、ファミリーランド、乗り物広場）への交通手段が少なくなっています。バスに代わる移動手段の確保について周辺施設などと連携して、県と協議の上、引き続き検討していきます。
- ④御所湖広域公園利用者の方からの意見収集のため、以前よりアンケートは以前より紙を用い実施しておりますが、さらに多くの意見収集を目指して、紙のアンケートと併用してWebアンケートを開始します。メリットとしては、アンケートURLをホームページやSNS、QRコー

ド等で簡単に告知でき、利用者がスマートフォンなどから好きなタイミングで回答できるため、早く多数の回答を得やすいと思われ、改善、回答までの時間短縮も期待できます。また、アンケート用紙の準備・配布・回収・設置場所などにかかる時間・費用といったコストが大幅に削減も見込まれます。

3.令和7年度以降 新規に取り組む内容

- ①御所大橋運動場の野球場でグラウンドコンディションが悪くなってきております。水捌けが悪く水がたまり雨の翌日には利用できない日が多くあるため、改善策（土壌改良、排水改良、草の根株除去等）を検討していきます。
- ②御所大橋運動場の駐車場台数は60台あり、テニスコート4面、野球場1面、週末などで両方の団体利用があると駐車場はオーバーフローして、通路を利用して駐車することが年に複数回見られます。その混雑時対策を検討します。
設備面でもコートの増設や壁打ちのできる部分の整備の可能性を探ります。
- ③物価が上昇して光熱費、消耗品費、委託管理も上昇傾向にあります。経費面を精査して外部との契約内容を見直し、県と協議して収支均衡できるように調整していきたいと考えています。